

学術情報のプラットフォームを一つに。

## 日本の論文をさがす- CiNii Articles

1,900万件を超える、膨大な論文情報の中から簡単に目的の論文をさがすことができます。  
学協会誌や研究紀要の論文本文の閲覧や、リンクにより他サイトの本文などの参照もできます。

## 大学図書館の本をさがす- CiNii Books

全国1,200以上の大学図書館などが所蔵する図書、雑誌、古典籍などの学術資料約1,100万件の情報をさがすことができます。  
目的の本がどこの図書館に所蔵されているかを調べることができます。

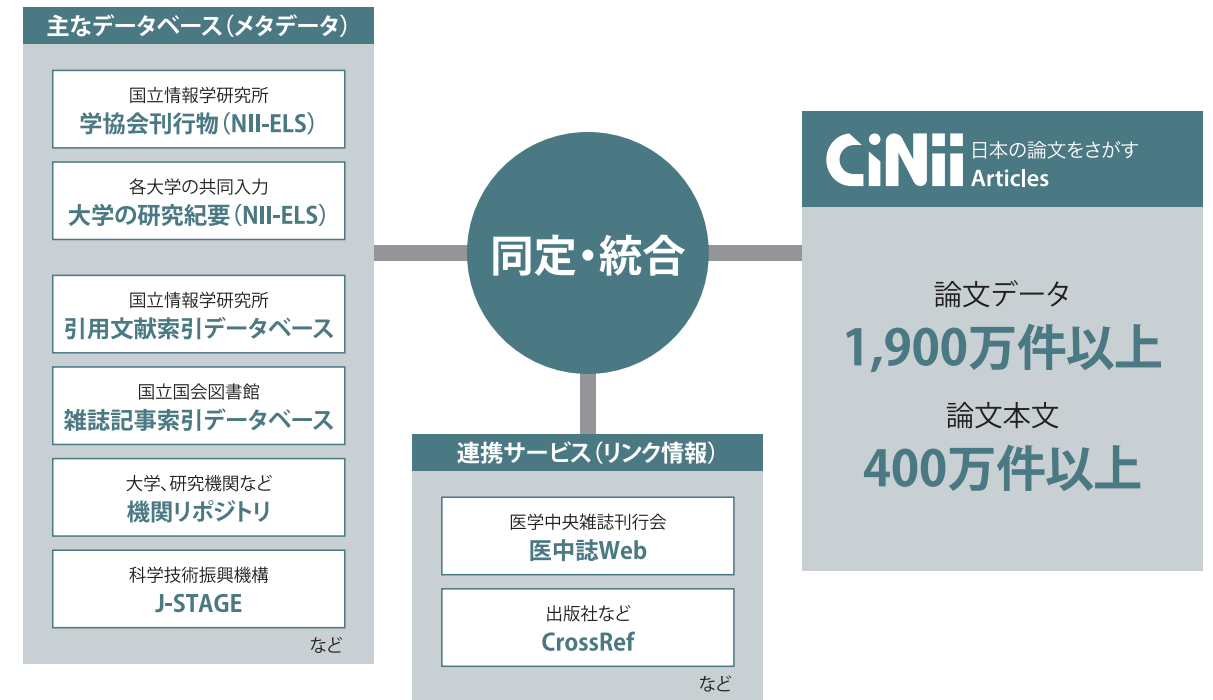
## 日本の博士論文をさがす- CiNii Dissertations

日本の博士論文を一元的、網羅的に検索できます。  
博士論文本文が公開されている場合は、リンクにより本文を表示できます。



## 大規模な論文書誌データベース

学協会誌や研究紀要など1,900万を超える膨大な論文情報の中から簡単に目的の論文をさがすことができます。



### 強力な検索機能

キーワードを入力することでタイトル、著者名、収録誌情報などから論文を探すことができます。  
また、検索項目を指定できる詳細検索や著者検索、論文本文を対象とする全文検索も可能です。

### 書誌からフルテキストへ

一部の論文は、本文をPDFでご覧になれます。  
論文によって有料、無料のものがあり、有料の論文の多くは機関定額制サービスをご契約になることで閲覧が可能です。  
また、他のサイト(機関リポジトリやJ-STAGE等)の本文へもリンクしており、本文がない場合にはCiNii Booksなどから所蔵図書館を確認できます。

### 引用／被引用文献

その論文が引用している／その論文を引用している論文の件数を表示しています。  
機関定額制サービスをご契約になることで、引用関係のリンクをたどることもできます。

### TOPIC

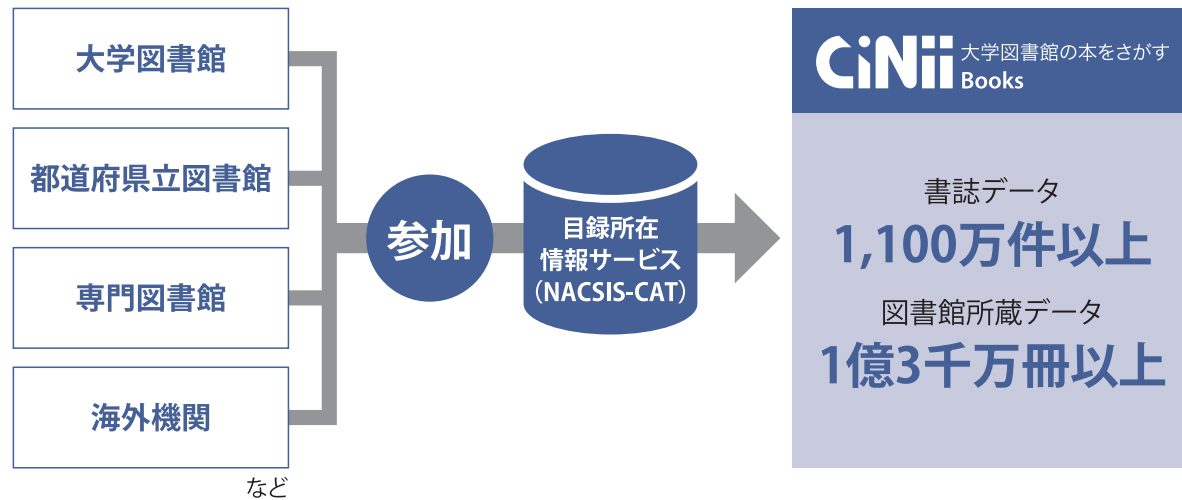
### 機関定額制サービス①

機関定額制サービスのご契約で、CiNiiのすべての機能と、学協会誌の論文のうち「定額アクセス可能」の本文を自由にご利用いただけます。  
また、機関独自の設定ができるオプションがあります。



## 膨大な図書館所蔵データ

国立情報学研究所が運用する目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)に蓄積されてきた全国の大学図書館など約1,200館が所蔵する約1,100万件(のべ1億3千万冊以上)の本の情報や、著者の情報を検索することができます。



### 豊富な検索機能

シンプルでわかりやすい「簡易検索」と、タイトルや著者名、出版者などはもちろん、注記や分類なども指定できる「詳細検索」の2種類に加えて、「著者」や本の「内容」からの検索もできます。

### 図書館を指定した検索も可能

特定の地域にある本、特定の図書館にある本などに限定してさがすことができます。

### 所蔵図書館を一覧&絞込み

目的の本がどこの図書館にあるか一覧で表示します。地域やILL(図書館間相互利用)利用可などの条件で絞り込むことができます。

また、OPACボタンから各図書館のOPAC画面に移動し、詳細を確認することもできます。

### TOPIC

#### 機関定額制サービス②

機関定額制サービスのご契約で、所蔵館一覧での自機関の優先表示やOpenURLなどによるリンクリゾルバ等機関独自のリンク先の設定が可能になります。

また、学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)を利用することで、ご自宅等機関外からも機関定額制サービスが利用可能です。

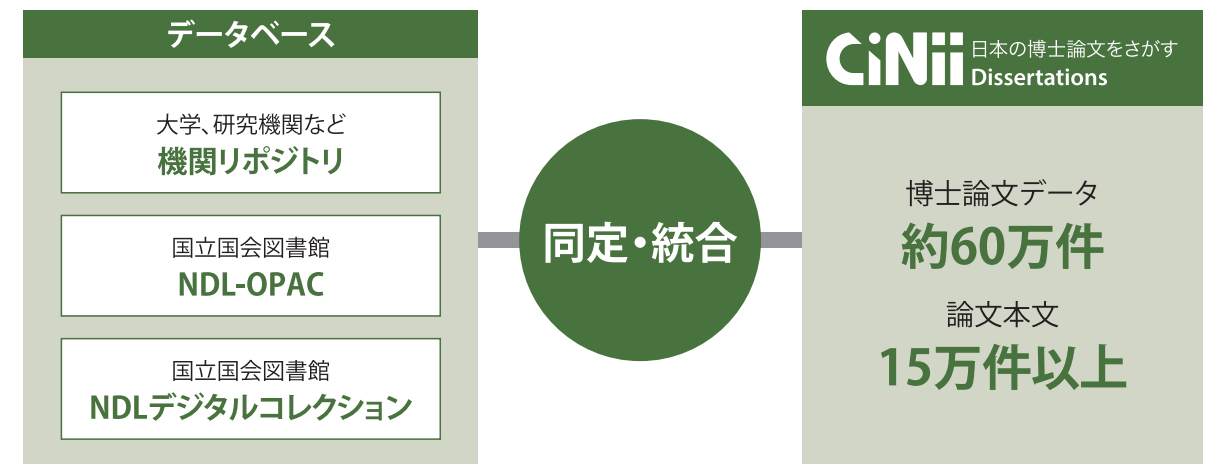
学認:GakuNinの詳細情報は以下をご参照ください。

<https://www.gakunin.jp/>



## 一元的な検索ができる国内唯一のサービス

国立国会図書館が所蔵し、電子化した国内の博士論文および各大学の機関リポジトリに収録された博士論文について、一元的に検索することができます。



### 充実の検索機能

博士論文に特化した検索項目が実装されています。タイトル、著者はもちろん、学位授与大学名や取得学位等、目的に応じたあらゆる検索を可能にしました。

### 網羅的な収集体系

以下の3つのデータベースを統合して検索することができます。

- ・国立国会図書館が所蔵している大正12(1923)年9月以降の国内博士論文約60万件
- ・国立国会図書館が平成3(1991)年度から平成12(2000)年度までに受け入れて電子化した「国立国会図書館デジタルコレクション」約15万件(電子化された本文データ含む)
- ・各大学の機関リポジトリの収録データ計約19万件

### 学位規則改正(平成25(2013)年4月)

博士の学位を授与された者は、博士論文のインターネット公表が義務付けられました。

具体的な公表方法については、学位を授与した機関が運営する機関リポジトリもしくはそれに相当するサーバに登録することが原則とされています。

### TOPIC

#### 便利な機能(CiNii共通)

検索結果はTSV形式でのダウンロードや、各種文献管理ツール、RefWorks、EndNote(EndNote Webを含む)、Mendeleyに直接書き出ことができます。

RSSでも検索結果を取得できます。